

《健康だより》薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

環境保健部 平安山 智子

なぜ、薬物乱用に走るのか。 甘い誘いに気を付けよう!

薬物乱用の甘い誘い

- 1回だけなら平気さ
- クスリでちょっと遊ぼうよ
- 面白いクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- イライラがとれてすっきりするよ
- 肌がきれいになるよ
- 「人生は経験だ」
- 眠気がとれて、勉強ができるよ
- ちょっとだけ、ためし
てみない
- みんなやってるよ
(やってないのはきみだけ)
- ただの栄養剤だよ
- 最高の気分が味わえるよ
- とりあえず、預かってよ
- お金はこの次で
いいよ



「ダメ。ゼッタイ。」と 断る勇気を持とう。

誘われたらどうする？

薬物乱用の問題は、一部の人たちだけの問題ではありません。調査で20代の約15人にひとり、10代の約28人にひとりが「過去1年以内に薬物使用経験のある知人がいる」と回答しています。

- 薬物を勧めてくること自体に違和感を持ち、危険を察知する判断力を身につけましょう。
- 誘われたとき、少しでも迷っている様子を見せてしまうと、また誘われてしまいます。誘われたときは、「きっぱり」断ることが大切です。
- 断りにくいときは、その場から逃げましょう。逃げることも勇気です。

薬物の乱用により、脳や身体の成長がストップし、感情をコントロールできず、意欲がなくなる、怒りっぽくなるなど、心身の発達が損なわれます。

そして、薬物依存になると、不安、被害妄想などの症状が現れ、幻覚や妄想によって、殺人、放火などの重大犯罪を引き起こすこともあります。

また、薬物を手に入れるために、無理な借金や窃盗・詐欺・売春などの犯罪を平気で犯すようになります。

困ったときは、一人で悩まずに相談してください。全国の保健所・精神保健福祉センター等の相談機関が秘密厳守で対応します。